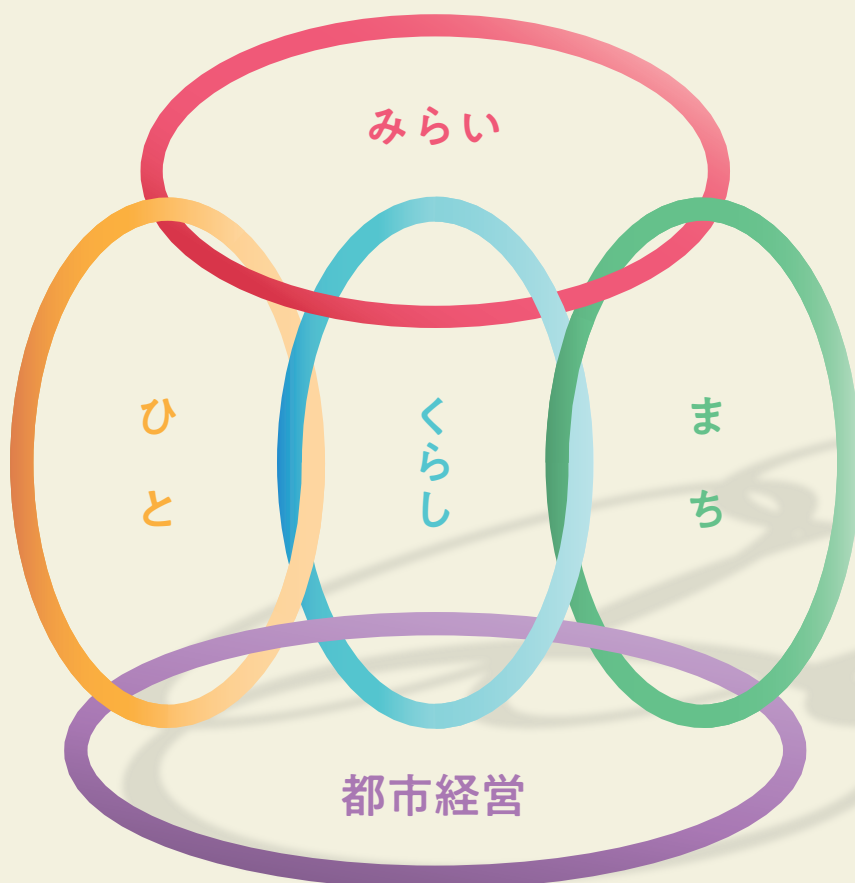


いつまでも 住み続けたい

サステイナブル健康都市 おおぶ

第6次 2020 ▶ 2030
大府市総合計画

概要版



市長あいさつ

この度、令和2年度(2020年度)からの11年間を計画期間とした、新たなまちづくりの指針となる「第6次大府市総合計画」を策定いたしました。

全国的に総人口が減少に転じている中、本市の人口は緩やかな増加傾向にあり、「住みよいまち」として高い評価をいただけるようになりました。先人たちが築き上げてきたまちづくりの歩みに感謝するとともに、次の世代へと確実に引き継ぎながら、本市の更なる発展を目指してまいります。

本計画では、第1次から第5次までの「健康都市」の理念を継承するとともに、分野横断的な連携を深め、「ひと」、「くらし」、「まち」、そして時間軸の観点を持たせた「みらい」の「4つの健康」に、それらを支える「健康都市経営」の視点を加えた5つの領域を軸とした「健康都市」の実現を基本理念に掲げております。さらに、目指すべき将来都市像を「いつまでも住み続けたい サステナブル健康都市 おおぶ」と定め、本市で暮らし、働き、集い、学ぶ人々がいきいきと健やかな生活を送ることができる未来志向の持続可能なまちづくりを進めてまいります。

最後に、計画策定に向けてご尽力いただいたまちづくり懇話会委員をはじめとする市民の皆さま、市議会や総合計画審議会委員の皆さまに心から感謝を申し上げます。

大府市長 岡村 秀人



SDGsによるまちづくりに取り組みます。

- SDGsは、「Sustainable Development Goals」の略で、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」であり、国際社会共通の目標となるものです。
- 持続可能な世界を実現するための包括的な17の目標と、それを細分化した169のターゲットで構成され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、経済・社会・環境を包含する統合的な取組を示しています。



総合計画に示す施策の方向性は、国際社会全体の開発目標であるSDGsの目標とスケールは違うものの、目指すべき方向性は同様であり、総合計画に沿った様々な事業を展開することがSDGsの推進にもつながります。各分野において、SDGsの目標達成に向けて市が果たし得る役割にも留意しながら、それぞれの政策目標の実現に向けた取組を推進します。

第6次大府市総合計画による 新しいまちづくりのスタート!

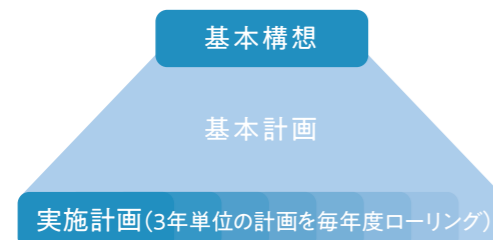
総合計画は、大府市のまちづくりの指針です。

総合計画は、市の総合的かつ長期的な行政運営の指針であり、その将来都市像を市民と共有することが持続可能なまちづくりには重要な要素です。

「第6次大府市総合計画」は、これまで以上に活気に満ちた、住みよさを実感できるまちを目指し、新しい地域経営計画として策定するものです。

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。

総合計画の構成イメージ



【基本構想】将来のまちづくりの在り方やまちの姿について、市民、団体、市が共有すべき目標を示します。

【基本計画】基本構想に示す基本理念や将来都市像を具現化するために必要な施策を体系的に定めます。また、成果指標と目標値を定め、その目標値を達成するために必要な施策を明らかにします。

第6次大府市総合計画は、市民の皆さんとともに作られました。

まちづくり懇話会

- 各分野で活躍されている市民委員と市職員が7つの分野に分かれて意見交換を行い、同じ目線に立って、本市の将来に対する提案を行いました。



総合計画審議会

- 大府市総合計画条例第5条に基づく大府市総合計画審議会において、計画の策定に関し必要な事項の調査及び審議を行い、その意見について答申をいただきました。



団体(分野別)懇談会

- 各分野で活動する団体(51団体)の皆さんと将来の大府市のまちづくりや団体との協働による取組について意見交換を行いました。

市民意識調査

- 市民の皆さんの日常的な取組、地域社会との関わり方、本市での暮らしに対する満足度について、広くご意見を伺うため「市民意識調査」を実施しました。

基本理念

本市がこれまでに「健康都市」として先導的に培ってきた取組成果を礎に、「ひと」、「暮らし」、「まち」、そして「未来」の「4つの健康」に、それらを支える「健康都市経営」の視点を加えた5つの領域を軸とした、分野横断的な連携による「健康都市」の実現を目指します。



5つの領域を軸とした健康都市の実現

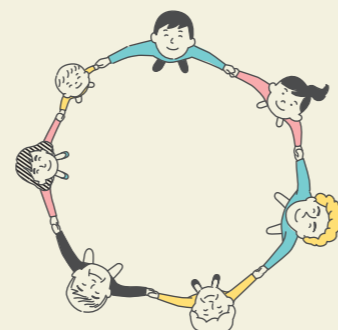
ひとの健康

●大府に住み、働き、集う一人ひとりが心身ともに健康で、生きがいや喜びを感じることができる、心の通ったまちづくりを進めます。



暮らしの健康

●多様な主体が互いにつながり、学び合うことで、地域全体で暮らしを支える共生と循環による持続可能なまちづくりを進めます。



まちの健康

●人々の心身の健康を支える快適で利便性の高い都市空間の整備を進めます。



未来の健康

●未来を担うひとづくりを進め、未来を創る産業の振興を図り、将来にわたって持続可能で活力あふれるまちづくりを進めます。



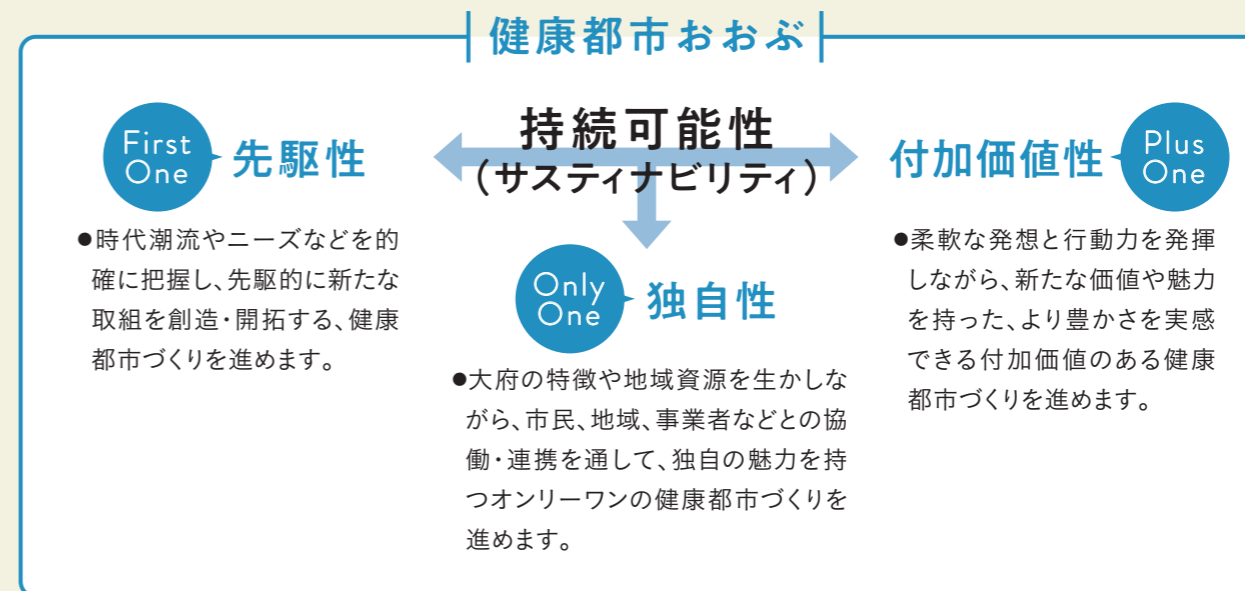
健康都市経営

●「ひと」、「暮らし」、「まち」、そして「未来」の「4つの健康」を軸として、市民がいつまでも住み続けたいと思える健康都市として発展していくために、柔軟な発想と健全な行財政運営による持続可能な行政経営を進めます。



新たな発想での持続可能なまちづくり

本市がこれまで大切に育んできた「健康都市」というまちのブランドを「独自性」、「先駆性」、「付加価値性」といった観点から、市民、地域、事業者などとの協働により、更なる磨き上げを行い、SDGs(持続可能な開発目標)の基本姿勢でもある持続可能なまちを創造する「健康都市」の実現を目指します。



将来都市像

いつまでも住み続けたい
サステナブル健康都市おおぶ

「いつまでも住み続けたい」

まちの機能や魅力を高めるとともに、人と人とのつながり、支え合いの輪を広め、本市に暮らす人々が地域の「魅力」や「温もり」を実感し、「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりを進めます。

「サステナブル健康都市おおぶ」

本市における「サステナブル(持続可能な)」の観点は、改善改革を繰り返しながら、発展し続ける「未来志向」の考え方です。本市で暮らし、働き、集い、学ぶ人々がいきいきと健やかな生活を送ることができる持続可能で鋭気にあふれるまちづくりを進めます。

政策目標
1 心ころもからだも元気に過ごせるまち
健康づくり、文化、スポーツ分野



健康都市連合の国際大会での様子

多くの市民が健康づくり・文化活動・スポーツなどに取り組み、心身のバランスがとれた健康的な生活を送ることができるよう、ソフト面では本市の様々な地域資源を生かした魅力ある取組を推進するとともに、ハード面では健康づくりにつながる環境整備を進め、分野横断的に「健康都市おおぶ」を実感できるまちづくりを進めます。

施策

- 1 地域資源を生かした健康づくりの推進
- 2 健やかな暮らしを支える連携の強化
- 3 安心を支える医療制度の充実
- 4 文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成
- 5 豊かで健やかなスポーツライフの創出

これまでの主な取組

- 健康づくり都市宣言、WHOが提唱する「健康都市」の取組を進める健康都市連合への加盟
- 「『健康都市おおぶ』みんなの健康づくり推進条例」に基づく取組
- 国立長寿医療研究センターなどと連携した認知症予防「認知症不安ゼロ作戦」や介護予防教室「健康長寿塾」の取組
- おおぶ文化交流の杜図書館の貸出し冊数が全国1位(同規模地方公共団体内)
- 大府市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ「OBUエニスポ」、大府市スポーツ少年団などの活動

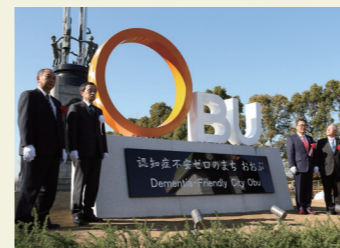
施策を実現する手段

- 国立長寿医療研究センター、あいち健康プラザ、あいち小児保健医療総合センターなどと連携した特色ある健康増進事業の推進
- プラチナ長寿健診、口腔機能健診、栄養パトロール、介護予防教室「健康長寿塾」などによる認知症やフレイルの早期発見と予防活動の積極的な推進
- 生活習慣病予防対策や自死対策、受動喫煙防止対策など、新たな健康施策を全庁的に推進
- ジェネリック医薬品の普及促進、レセプト点検効果向上による医療費の適正化
- おおぶ文化交流の杜や愛三文化会館(大府市勤労文化会館)などを有効活用し、市域全体で文化芸術に触れる機会を創出
- 市民ニーズに対応したスポーツ施設の新設や計画的な改修

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
2 地域で助け合えるまち
地域福祉、高齢者・障がい者福祉分野



オレンジリングモニュメント
「認知症不安ゼロのまち おおぶ」

子どもから高齢者、障がい者など、地域に住む全ての人々が存在を認め合い、交流し、支え合いながら、いつまでも安心して健やかに、そして生きがいを持って、自分らしくいきいきと暮らすことができる地域共生社会を形成します。

施策

- 1 地域で支え合う福祉のまちづくり
- 2 高齢者の社会・地域参加の促進
- 3 障がいのある人が自分らしく地域で暮らせるまちづくり

これまでの主な取組

- 「地域見守り活動に関する包括協定」の締結など、地域の多様な主体による地域福祉のまちづくり
- 「平和都市」宣言と石碑の設置、被爆樹木2世の苗木「アオギリ」の植樹、中学生「平和大使」派遣事業
- 大府市ふれ愛サポートセンターにおけるワンストップ型相談体制の構築
- 大府市高齢者・障がい者虐待防止等連絡協議会を設置し、専門機関と連携した虐待の防止・早期発見に向けた取組
- 「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」に基づく取組
- 大府市発達支援センター「おひさま」「みのり」における早期療育事業
- パラアートおおぶの定期的開催

施策を実現する手段

- ふれあいサロン、認知症カフェ、全世代型サロンなどの開設を促進し、地域のつながりと相互扶助の機会を拡充
- 認知症サポーター養成講座の開催、認知症の方や家族を支援する事業の実施などによる認知症のひとにやさしいまちづくりを推進
- 大府市就業支援センター「ワークプラザおおぶ」や大府市シルバー人材センターなどによる高齢者の就労支援
- 福祉と農業の連携による障がい者の農業分野での活躍促進
- 福祉分野に関わりがなかった他職種、他業種との連携を強化し、支援の新たな担い手づくりに向けた取組を推進
- 虐待防止センターを中心とした障がい者への差別や虐待を防止する取組の推進

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
3 支え合い学び合うまち
協働、生涯学習、多文化共生分野



大府市民活動センター(コラビア)

価値観やライフスタイルの多様化、地域における国際化が進む中で、一人ひとりの権利が尊重され、国籍、性別、年齢などにかかわらず、誰もが様々な分野へ参画し、学び、活躍できる地域社会を構築するとともに、多様な主体が互いに連携しながら地域の課題を解決していく、協働のまちづくりを進めます。

施策

- 1 協働による地域力が備わるまちづくり
- 2 地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり

これまでの主な取組

- 市民が市と協定を結んで公園、歩道、河川などの清掃活動が無償で行うアダプトプログラムの実施
- 「大府市協働のまちづくり推進基金」による協働企画提案事業、NPO法人立ち上がり支援事業
- 大府市民活動センター「コラビア」における市民活動支援
- 中学生に対する無料学習支援「まなポート」事業
- 高校生議会の開催、至学館大学・大府東高校への期日前投票所の設置
- テレビ電話通訳システムと携帯型音声翻訳機の導入
- ポート・フィリップ市、岩手県遠野市などとの都市間交流事業
- 大府商工会議所との共同による「イクボス宣言」

- 3 国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり

施策を実現する手段

- 自治会、自治区、コミュニティなどのライフスタイルに合わせた組織運営の見直しを支援
- 大府市民活動センター「コラビア」や公民館を中心に市民活動の活性化支援
- (仮称)若者会議の開催などによる青少年の主体的な活動の支援
- ひまわり委員やコミュニティの家庭教育部会などの地域住民と連携した地域全体での青少年育成
- 地域課題を解決する拠点施設として、地域の特性を生かした公民館の活用促進
- 外国人児童生徒の日本語教室、学習支援
- 大府市国際交流協会を始めとした外国人支援団体などの活動支援
- 審議会などへの女性登用の推進
- LGBTへの理解促進、DVの予防・防止
- 国内外の都市との市民レベルでの交流促進

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
4 環境にやさしい持続可能なまち
環境保全、環境美化分野



市民と職員との協働による河川清掃の様子

一人ひとりが環境に対する高い意識を持ち、環境問題を地球規模で考え、地域レベルで行動する取組を推進し、次代に継承できる持続可能な地域、そして社会の構築に向けた、環境負荷が少なく、人と自然が共生する快適なまちづくりを進めます。

施策

- 1 地域における持続可能な循環型社会の形成
- 2 地球環境にやさしい取組の推進

これまでの主な取組

- 東部知多衛生組合でのごみ処理、新しいごみ焼却施設の供用
- 「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」による使用済小型家電の回収
- 「大府市バイオマス産業都市構想」に基づく取組
- 「『健康都市おおぶ』みんなが美しいまちをつくる条例」に基づく不法投棄やポイ捨ての抑制
- クリーン・アップ・ザ・ワールド・イン・大府、アダプトプログラムによる地域での清掃活動
- 自己適合宣言方式による環境マネジメントシステムの運用

施策を実現する手段

- 小型家電などの回収を継続して行うとともに、生ゴミ分別収集に関する事業の拡大を図り、ごみ減量化施策を積極的に推進
- 2010運動の啓発や事業者などにおける食品廃棄物のバイオガス発電施設への搬入促進
- 地域における清掃活動の情報発信を積極的に行い、市民一人ひとりの環境美化に対する意識の向上を図るとともに、地域の問題として解決できるよう支援
- 資源ステーションの在り方を見直すなど、ごみと資源の出しやすい環境を整備
- 環境保全率先行動計画(エコプランおおぶ)に基づく積極的な再生可能エネルギーの導入・活用とLEDを始めとした省エネルギーの推進
- 環境行政の根幹となる新たな環境基本計画を策定し、環境施策を総合的かつ計画的に推進
- 環境パートナーシップ会議などを通じた多様な生物の生息環境の保全・創出

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
5 安心安全に暮らせるまち
消防、防災・減災、防犯、交通安全分野



「新居浜市及び大府市の災害時における相互応援に関する協定」締結の様子

大規模地震や集中豪雨などの自然災害、多様化・巧妙化する犯罪、交通事故、火災など、市民の安全を脅かすリスクに対し、平常時からの備えとして、行政、関係機関、地域、団体、事業者などが一体となって地域の防災対策・防犯対策・交通安全対策・消防力の強化を図り、人と人が助け合い、誰もが安心して安全に暮らすことができるまちづくりを進めます。

施策

- 1 消防・救急体制の充実
- 2 計画的で包括的な治水対策の推進
- 3 防災・減災対策の推進
- 4 地域ぐるみの防犯対策の推進
- 5 地域ぐるみの交通安全対策の推進

これまでの主な取組

- 市内の24時間営業の全てのコンビニエンスストアへのAED設置
- 知多地域5市5町による知多広域消防指令センターの共同設置
- 川池バイパス水路や六間調整池の整備など、計画的な治水安全度向上の取組
- おおぶ防災大学・防災士資格取得費助成など地域防災リーダーの育成
- 他市町、事業者、大学(至学館大学、人間環境大学)などと防災協定締結
- 「犯罪のない安心して安全に暮らせる大府市をつくる条例」に基づく、犯罪のないまちづくりの推進
- 東海警察署、大府商工会議所とドライブレコーダーに記録された画像の提供に関する協定締結
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との交通安全に関する連携協定締結

施策を実現する手段

- 消防署共長出張所の新築移転など、消防・救急体制の充実強化、防災学習センターの整備
- 大府市総合排水計画の見直し、本市独自の治水対策の取組充実
- 同報無線のデジタル化など、災害時情報伝達手段の拡充
- 大府市防災対策連絡会と連携した事業者の防災力の強化に向けた支援
- 自治区との調整による防犯灯・防犯カメラの設置、公共施設への防犯カメラの設置推進
- 警察署の誘致と警察力の充実に向けた県への要望活動の継続実施
- 交通安全施設の整備、通学路における危険箇所へのグリーンベルト整備
- 高齢者の自動車運転における交通安全対策の充実
- 運転免許自主返納制度の活用促進と自主返納しやすい環境の整備

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
6 快適で便利な都市空間が整うまち
都市計画・景観、道路、緑花、上下水道分野



八ツ屋大池公園

利便性の高い立地条件を生かしながら、長期的視点に立った土地利用を進め、安全性・快適性に優れた暮らしを支える都市基盤の形成を図ります。公園、道路、上下水道などの既存ストックを適正に維持管理するとともに、緑や水辺空間の創出による安らぎと潤いに満ちた良質な都市空間を形成します。

施策

- 1 未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成
- 2 未来につながる良好な居住空間の形成
- 3 人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成
- 4 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出
- 5 下水の適正処理による快適な生活空間の創出
- 6 安全な水の安定供給

これまでの主な取組

- 計画的な土地地区画整理事業の実施
- 大府市空家等対策計画の策定、空家等対策の推進に関する条例の制定
- 三世同居・近居住宅への支援
- 終山大府線などの幹線道路、共和駅東線などの補助幹線道路の整備
- 「大府市みちづくり基金」を活用した狭あい道路の整備
- 鞍流瀬川、石ヶ瀬川などの河川緑道やニツ池、星名池などのため池の親水空間の整備
- 八ツ屋大池公園、てるへい公園の整備
- 市街化区域内の汚水整備完了
- 農業集落排水事業を廃止し、公共下水道に統合
- 水道事業における配水施設の統廃合

施策を実現する手段

- 第4次大府市都市計画マスタープランに基づく、バランスのとれた土地利用の推進
- 北山地区、横根平子地区の土地地区画整理事業の実施
- 幹線道路・補助幹線道路の整備推進(養父森岡線、共和駅東線、井田上線、上原殿田線、横根大府線など)
- 河川緑道やため池親水空間の整備推進と良好な景観の創出
- 市民参加による公園の整備と維持管理
- 桜、つつじ、ハナモモなどの植樹を通じた緑化促進
- 大府市公共下水道ストックマネジメント計画に基づく、下水道施設の計画的な更新と適切な維持管理
- 下水道事業の企業会計化に合わせた、経営戦略の計画的な見直し
- 大府市水道ビジョンの見直しなどによる持続可能な経営基盤の充実

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
7 子どもが輝くまち
子育て、学校教育分野



ICTを活用した教育

妊娠・出産から育児までの切れ目のない子育て支援施策や地域で支える連携事業を推進し、きめ細かで質の高い子育て環境を整備します。ICTの進展などを踏まえた、教育環境・技術の向上を図るとともに、次代を担う「心身ともに健康で知恵と愛を持つ子ども」を育成するための環境を学校・家庭・地域が連携し、整えます。

施策

- 1 質の高い保育・幼児教育の提供
- 2 子どもの健やかな成長を喜び合える環境づくり
- 3 心身ともに健康で知恵と愛を持つ児童生徒の育成

これまでの主な取組

- 荒池保育園など公立保育園の建替えや増築による定員枠の拡大
- 民間活力を活用した、認定こども園、小規模保育事業、企業主導型保育事業など多様な保育形態の導入
- 認可外保育施設に対する立入調査などの権限を愛知県から移譲
- 「おおぶ子ども・子育て八策」の開始、「体力向上プロジェクト・運動遊び講座」の実施
- 電子黒板やタブレット端末の導入、ICT支援員の配置など、ICTを活用した学校教育の実施
- 自校調理方式給食による食育の取組
- 市内全小・中学校の普通教室などへのエアコン設置
- 放課後クラブで全学年、希望者全員の受入れを実施

施策を実現する手段

- 保育園の公立と私立の適正配置による待機児童ゼロ、安心して子育てができる環境づくり
- 地域の大学、医療機関、NPOなどの多様な資源と連携した食育や体力向上などの取組を推進
- 子どもの虐待を防止するための条例の施行による虐待防止に向けた取組の強化
- 地域における世代間交流の場や機会を増やし、世代を超えて子育てに関わる地域づくりを推進
- 放課後クラブの待機児童ゼロを維持
- ALTを活用した実践的な英語教育の推進と郷土を愛する心を育む道徳教育の実践
- ICTを活用した主体的な学びの充実
- ICT支援員や部活動指導員の適正配置などによる教職員の多忙化の解消
- 「大府市幼保児小中連携教育の指針『きらきら』」を活用した地域社会全体での児童生徒の育成
- いじめや不登校の未然防止と早期対応

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
8 活力とにぎわいがあふれるまち
商業、観光、工業、農業、公共交通分野



大府市健康にぎわいステーション「KURUTOおおぶ」

リニア中央新幹線の開業やインバウンド観光の盛況など、広域的なまちづくりの転換期に対応するため、健康長寿関連の研究機関・施設の集積地であるウェルネスバレーを始めとする多様な地域資源や利便性の高い恵まれた環境を活用しながら、商業、観光、工業、農業などの市内産業が連携し、活性化することにより経済基盤の更なる強化を図ります。研究機関、大学などの立地や広域交通の利点を生かし、交流人口の増加と回遊性の向上を図るとともに、経済活動や地域活動を活性化することによりまちなかのにぎわいを創出します。

施策

- 1 商業の活性化と地域資源を生かす観光の推進
- 2 基幹産業である製造業の育成、支援と雇用環境の整備
- 3 地域特性を生かした都市近郊農業の推進
- 4 利便性の高い公共交通ネットワークの形成

これまでの主な取組

- 大府駅構内に大府市健康にぎわいステーション「KURUTOおおぶ」を開設
- 「大府市空き店舗等活用補助金」の創設
- 「ふるさとガイドおおぶ」を中心とした観光案内機能の強化
- 「大府市中小企業の振興でまちを元気にする条例」の制定、「大府市中小企業振興アクションプラン」の策定
- 大府市就業支援センター「ワークプラザおおぶ」の設置
- ウェルネスバレーの推進
- 「大府市6次産業化推進戦略」の策定、農家レストランの開業支援
- 循環バスの豊明市、東海市への乗り入れを実施

施策を実現する手段

- 中心市街地の活性化を目的としたプランに基づく持続可能な商業振興と交流の場づくり
- 大倉公園、金メダルのまち共和、げんきの郷、あいち健康プラザなどを活用したグリーンツーリズム・ヘルスツーリズムなどの着地型観光の推進
- 知多半島観光圏協議会を中心とした広域観光の推進
- インター周辺やウェルネスバレー地区における優良企業の誘致、既存企業の事業拡大への対応
- ウェルネスバレー実現に向けたヘルスケア産業への参入支援
- 6次産業化を通じた付加価値の高い農業の振興
- 駅周辺のバリアフリー化、駐車場・駐輪場の利便性の向上などによる交通結節点機能の充実
- 大府市地域公共交通網形成計画を策定し、鉄道、バス、タクシーなどが連携した利便性の高い移動環境を形成

SDGsの17ゴールとの関連性



政策目標
9

まちづくりを支える持続可能な行政経営
行財政運営、広報・広聴分野



ソフトバンクとの包括連携協定締結式

厳しい社会・経済情勢にあっても、分権型の自立した自治体運営を確立し、国の政策決定を待つのではなく、新たな行政需要に対して能動的かつ迅速に対応できる組織体制の確立及び職員の育成を進めます。全国的に人口減少が進み、都市間競争が激しさを増す中、民間活力の活用や広域的な連携、広報・広聴機能の充実などを進めるとともに、健全で持続可能な財政基盤の確保を図り、誰もが住みたい、住み続けたいと感じることができるまちづくりを進めます。

施策

- 1 未来を見据えた行政マネジメント体制の確立
- 2 健全で持続可能な財政運営の推進
- 3 効率的で適正な行政サービスの提供
- 4 戦略的な情報発信と市民とのコミュニケーションの充実

これまでの主な取組

- 行政マネジメントシステムの構築、大府市行財政改革委員会による外部評価の実施
- ふるさと納税、ネーミングライツ、有料広告など新たな財源確保の取組
- 全庁的なタブレットパソコンの導入による事務のペーパーレス化、RPAを活用した事務の改善
- ソフトバンク株式会社とICTの活用による持続可能なまちづくりに関する包括連携協定を締結
- 市役所でのパスポートの申請・受取
- 住民票の写しなどの証明書のコンビニ交付サービス
- 大府市公契約基本条例の制定
- 大府市公式マスコットキャラクター「おぶちゃん」や本市ゆかりの著名人を活用したシティプロモーションの展開

施策を実現する手段

- 第6次大府市総合計画の実現に向けた行政マネジメントシステムの機能性と効率性の向上
- 条例・規則の新規制定、改正などを通じた地域課題の解決や政策の実現
- 公共施設・インフラの計画的な改修・更新、民営化も視野に入れた最適な公共施設の管理運営
- 地方創生事業の積極的な取組と、国・県、団体などからの交付金や補助金の活用
- IoT、AI、RPAなどの先端技術の活用
- 高齢者、外国人にもやさしい窓口サービスの提供
- オリンピックの金メダルを始めた地域資源や先駆的な行政施策などの積極的な情報発信と市の認知度の拡大
- 住んでいるまちに誇りを持ち、住み続けて良かったと思えるシビックプライドの醸成

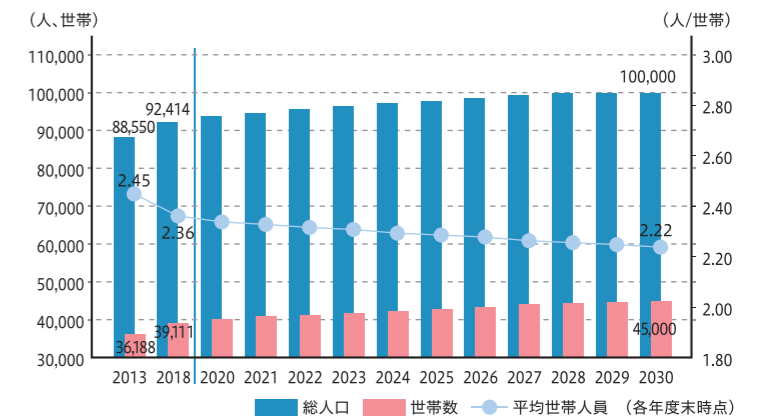
SDGsの17ゴールとの関連性



計画フレーム

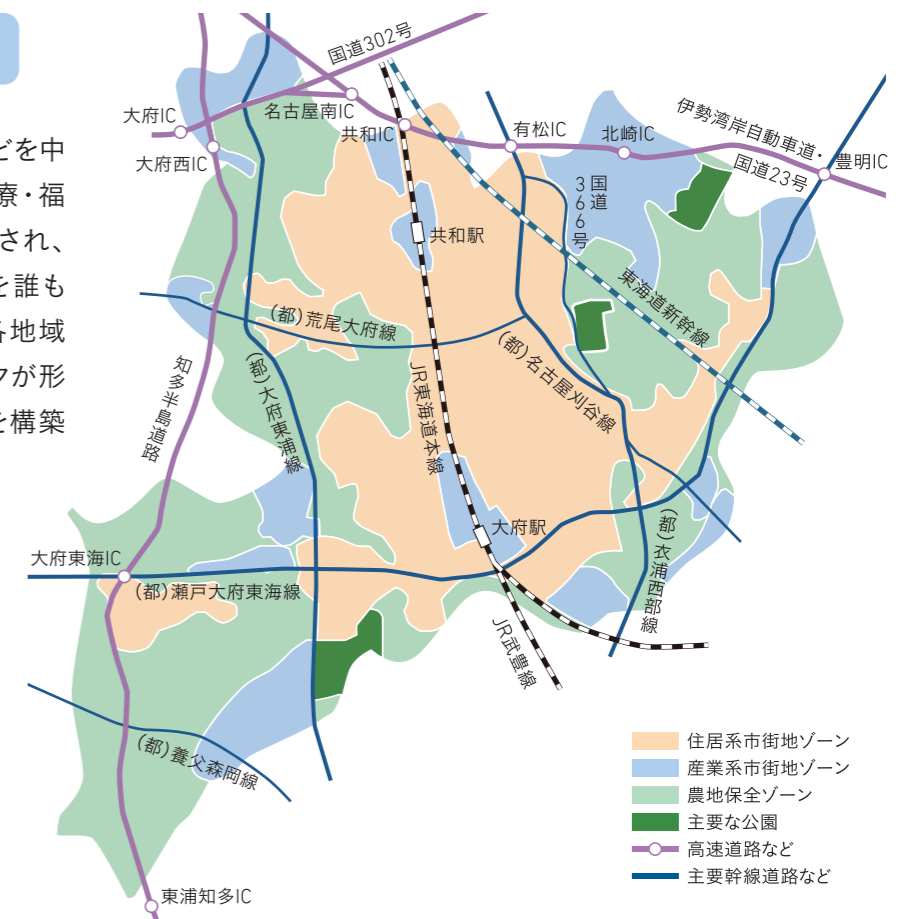
人口の見通し

本市の人口は緩やかに増加しており、計画期間中はその水準が維持される見通しです。そのため、計画の目標年次である令和12年度(2030年度)の計画人口を100,000人とします。



土地利用計画

JR大府駅や共和駅周辺などを中心に居住機能や商業・医療・福祉などの都市機能が集積され、これらの都市的サービスを誰もが容易に享受できるよう、各地域を相互につなぐネットワークが形成された集約型都市構造を構築します。



住居系市街地ゾーン

市民の健康づくりにも寄与する緑豊かでゆとりある良好な住宅地の形成を図ります。

産業系市街地ゾーン

工業系市街地では、広域的な交通利便性を生かした工業・物流機能の充実・拡大や更なる集積強化を図ります。JR大府駅や共和駅周辺の商業系の市街地では、商業機能の強化と中心市街地のにぎわいづくりを推進します。

農地保全ゾーン

優良な農地の維持・保全と有効活用を図り、生活環境や営農環境を維持します。



体の形は大府市の地形。
明るい黄色は元気のしるし。
チャームポイントは市の花くちなし。
タスキをかけて未来への
健康の橋渡し役を務めているよ。

誕生日／3月27日 趣味／ウォーキング
好きな食べもの／ぶどう、ジャンボ梨、木の山いも